



The World Association for Waterborne Transport Infrastructure

PIANC-Japan 国際航路協会日本部会

Newsletter August 2021 (Vol.21-1)

PIANC 日本部会の2021年前半の活動について

1. 会長メッセージ

盛夏の候、日本部会会員の皆さまにおかれましては元気にお過ごしのことと思います。平素よりPIANC活動に対し皆さまから多大なご支援をいただいております、誠にありがとうございます。

昨年来のコロナ禍の中、PIANCはオンラインに軸足を移して活発な活動を続けています。本年5月、PIANC日本部会は初の試みとして、内外の技術者をターゲットとし沿岸域防災をテーマとした、英語によるウェビナーを開催しました。本セミナーでは、冒頭にPIANC本部のエステバン会長からのビデオメッセージを紹介し、続いて日本、インドネシア、フィリピン3か国の専門家4名から津波や高潮に関する防災技術についての講演をいただきました。近年沿岸域において巨大災害が頻発している中で時宜を得たセミナーとなり、27か国から250人以上の参加を得るという望外の成果を収めることができました。本セミナーの実施に当たっては、早稲田大学の柴山教授に絶大なご支援を頂くとともに、国土交通省、水産庁、国際協力機構からご後援を、また多くの日本部会会員から献身的なご協力を頂きましたことに、厚くお礼申し上げます。

日本部会が開催するセミナーに、これだけ多くの国から多数の参加者を得るということは、従来の対面での形式では不可能だったと思います。日本部会としては、コロナ禍による移動制限を制約と捉えるのではなく、デジタル・トランスフォーメーションを活用した新たな活動の場が広がったと考えたいと思います。不慣れな分野でありますので、ぜひ会員各位からのアイデアやご協力を頂ければと思います。

現在国内では急ピッチで新型コロナワクチン接種が進んでおり、遠くない時期に日本部会会員の皆さまと一堂に会して意見交換できるものと期待しております。



2021年8月

日本部会会長 岡田光彦

2. 2021 年の主な活動（1月～7月）



1) 本部会議への出席～オンラインによる参加

- ・3月29日に第84回 Council 及び各国部会事務局長会議が開催され、日本より港湾局平澤首席国際調整官、水産庁横山課長、岡田日本部会会長、鈴木事務局長他が出席しました。
- ・5月26日～27日の2日間、年次総会（AGA 2021）が開催され、岡田会長ほか計10名が出席しました。2020年決算、2021年予算、事業計画が承認されたほか、新副会長として姜範九氏（韓国）が選任されました。

2) 総会、理事会等の開催

- ・3月24日に企画委員会を開始し、令和3年度活動方針について議論しました。
- ・6月24日に、日本部会の理事会、総会が縮小して開催されました。
- ・6月25日には、東京大学柴崎准教授による特別講演会がオンラインで開催され約100名の参加を頂きました。（運営:YPCOM Japan）



3) 委員会活動、WG 活動の充実

- ・新たに以下の WG の報告書が本部より公開されました。

InCom	WG179	Small Hydro Power Plant in Waterways
MarCom	WG208	Planning for Automation of Container Terminals : 吉江宗生 (港空研)、池町円 (港湾荷役システム協会 / 当時)、小野憲司 (日本海洋コンサルタンツ) 参加
EnviCom	WG195	An Introduction to Applying Ecosystem Services for Waterborne Transport Infrastructure Projects (2021)
- ・新たに以下のWGが発足しました。

InCom	WG236	Sustainable Management of the Navigability of Free Flow Rivers: 中川康之 (港空研) 参加
	WG237	Bottlenecks and Best Practices of Transport of Containers on Inland Waterway

	WG241	Handling Accidents and Calamities in Navigation Hydraulic Structures
MarCom	WG238	Guidelines for use of BIM in infrastructure for ports and waterways:辰巳大介(国総研) 参加
	WG239	Mitigation of tsunami disasters in ports:高川智博(港空研) 参加
	WG240	Guidance for ports in small island countries:元野一生(OCDI) 参加

- ・2021年1月27日に、委員会関係者で連絡会議を開始し、情報の共有を図りました。
- ・2月25日にはWGメンバーも加え情報交換会を開催しました。
- ・オンラインにより各委員が本部主催の委員会に参加しているところです。

4) オンラインを活用した活動

・5月11日にオンライン方式により「PIANC アジアセミナー」を開催し、国内外から約260名の参加を頂きました。セミナーでは本部エステバン会長のメッセージのほか、早稲田大学柴山先生他、インドネシア、フィリピン、国土交通省からの講師により、沿岸防災等の対策についてのプレゼンテーションがありました。



5) YP (Young Professional) 活動の充実

- ・YPCom では「YP オンラインセミナーシリーズ」を定期的で開催しています。今年度は「洋上風力」、「i-Construction」などをテーマとしてこれまで計6回の技術セミナーを開催しました。
- ・また、海外 YP とのオンラインでの交流についても促進させており、7月15日にアルゼンチン部会の YP とのオンラインセミナーを実施し、40名を超える参加がありました。

3. 会員動向



・本年度はあらたに4名の方が新規入会されました。今後も、日本部会の拡充を図ってまいります。

・長年会員として活動を支えていただいた浅田忠則様(元・港湾技術研究所)が本年2月に逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

4. 2021年度の活動について



1) 日本部会の体制

本年度、以下の方々が新たに理事に就任いたしました。

- ・高野誠紀 港湾空港技術研究所 所長
- ・宮崎祥一 (一財)沿岸技術研究センター 理事長
- ・坂克人 国土交通省 国土技術政策総合研究所 副所長

また、企画委員会委員長に佐々木規雄港湾局国際企画室長が就任いたしました。

2) 論文等の応募について

・De Pappe-Willems Award (DPWA) の申込締切が8月末となっております。
皆様の積極的な応募をお願いします。

<https://www.pianc.org/awards/pianc-de-paepe-willems-award>

・Smart River 2022 への応募

2022年10月中国南京市で開催予定の Smart River2022 の申込締切が12月1日となっております。皆様の積極的な応募をお願いします。

www.smartrivers2022.com/call-for-abstracts/

3) 2021年日本部会主要予定行事

○ 国内向けオンラインセミナー

・昨年10月に開催したオンラインセミナーを継続し、国内の最新情報を皆様にお届けする予定です。

○ 委員会・WG 活動への参加

○ 土木学会シンポジウムへの参加

・土木学会国際センターが主催する「技術基準の国際化セミナー」に参画予定

○ 意見交換会の開催

・年度内の意見交換会開催を目指します。

○ YP 活動の予定

・今後の YP オンラインセミナーシリーズは、以下の通り予定されています。YP のみならず多くの方のご参加をお待ちしております。ご興味がございましたら YP-Com 伴野 (banno-m@p.mpat.go.jp) / 吉塚 (yoshizuka@nikken-kogaku.co.jp) までご連絡お願いいたします。

- ① 8/6(金) 東洋建設(株) 曠野博紀氏 「工事紹介『ケニアモンバサ港Ⅱ期工事』」
- ② 8/20(金) シバタ工業(株) 大崎裕治氏 「世界で愛されるシバタ防舷材(仮)」
- ③ 9/3(金) 杉江製陶(株) 林茉祐氏 「地中埋設用ケーブル保護管「セラダクト」と採用実績」

4) お知らせ

我が国初の本部副会長を務められ、一昨年逝去されました故大久保喜市様の追悼録「大久保喜市さんを偲んで」(非売品)が刊行されました。ご興味のある方は追悼録刊行会世話人兼幹事長の藤田武彦様(五洋建設(株)副社長)までご連絡願います。



以上

【デザイン:木崎由香(日建工学(株))】

